

### 逆数

2つの数の積が1のとき、一方の数をもう一方の数の<sup>ぎやくすう</sup>逆数という。

$$5 \times \frac{1}{5} = 1 \text{ なので、}$$

$\frac{1}{5}$  は5の逆数となる。また、5は $\frac{1}{5}$ の逆数となる。

負の数では、逆数も負の数になる。

$$\left(-\frac{1}{3}\right) \times (-3) = 1 \text{ なので、}$$

-3は $-\frac{1}{3}$ の逆数となる。また、 $-\frac{1}{3}$ は-3の逆数となる。

小数の逆数は、分数にして考える。

0.5の逆数を求めるときは、

$$0.5 = \frac{5}{10} = \frac{1}{2} \text{ なので、2は0.5の逆数となる。}$$

### 逆数かける除法

除法の計算では、逆数をかけて計算しても同じ数になる。

$$\begin{array}{ll} (+6) \div (-3) & (+6) \times \left(-\frac{1}{3}\right) \\ = -(6 \div 3) & = -\left(6 \times \frac{1}{3}\right) \\ = -2 & = -2 \end{array}$$

6を-3で割るとき、逆数の $-\frac{1}{3}$ をかけても同じ数になる。

### 分数の除法

分数の除法の計算では、逆数をかけて計算する。

$$\frac{1}{2} \div \left(-\frac{2}{3}\right) = \frac{1}{2} \times \left(-\frac{3}{2}\right) = -\frac{3}{4}$$